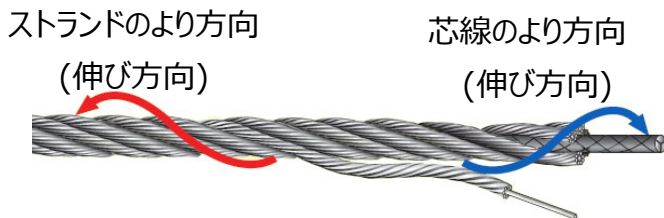


ワイカブルの仕組みと点検について

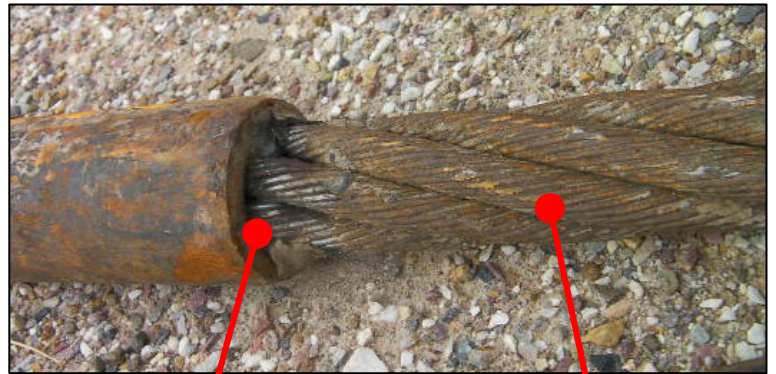
ワイカブ力は、クレーンのブーム等のアタッチメントと荷重を支持する、非常に重要な部品です。ワイカブ力が破断すると、大事故に繋がる可能性がありますので、適切にメンテ及び交換をしていただく事を推奨します。

▼ワイカブ力の役割

ワイカブ力はアタッチメントを含むクレーン前方の荷重全てを支持（引張荷重）しています。荷重が変化した際には、下図のように伸長します。ブームを起こすときに急激に荷重が掛かれば、ワイカブ力のコネクタが回転するのはこの為です。



▼ワイカブ力外観点検時の着眼点



- コーキングが剥がれている ⇒水がコネクタ内に侵入 内部から腐食する可能性
- グリスが無くなっている ⇒ワイヤが錆びている ⇒素線切れ・破断の恐れ

▼長期間通常メンテを行い使用されていたワイカブ力内部



- コーキングが残っていてグリスも十分塗布されている
- 内部のストランド同士がこすれて筋が出来ている。
- 心線が細くなり素線切れを起こしている。



メンテナンスだけでは不十分で交換が必要

▼推奨交換インターバル

このように、ワイカブ力は内部からも損傷や腐食が生じる為、外観からの判断では十分ではありません。内部損傷や腐食が進むと、ワイカブ力の折損・破断により重大事故を引き起こす可能性がありますので、作業内容に応じて、必ず取扱説明書の推奨通りに**定期的に交換して下さい。**

作業内容	交換時期
一般的なクレーン作業	6年
クレーン作業が主体で、クラムシェルやハンマーグラブなどバケット作業を併用するような作業	4年
リフマグ、クラムシェル及びハンマーグラブ専用	2年